

活動情報

取組項目	生物の生息状況の把握・地域住民等との交流活動		
組織名	天子甲農地・水・環境保全協議会	芳賀管内	茂木町

活動目的：当地区内の水路田んぼ周りにおける生物調査を通して、地域や生物への関心を高めると共に、当地区の環境を永続的に保全していこうとする意識の醸成を図る。

活動内容：水路と田んぼ周りでの生物調査

- H22年8月22日(日)に、天子甲農地・水・環境保全協議会、子供育成会が参加の下、生物調査を実施しました。
- アドバイサーとして、栃木県土地改良事業団体連合会の岡本功さんの指導を仰ぎ、水路沿いとその田んぼ周りで、生物の採取を行いました。
- 昨年に引き続き、サワガニやアカハライモリなど、希少な生物を見ることができ、改めてこの地区が豊かな自然環境であることを実感することができました。その他、ホタルの餌となるカワナナも多く観察でき、ホタルが生息できるこの地区を、みんなで守っていくことが必要であると感じました。
- 調査後の講師の講評では、「天子甲地区の生物のポテンシャルは非常に高いので、大事にしていって欲しい」とのお話をいただきました。
- 地元の参加者は、14種の生物が調査を通して採取でき、まだまだ自然環境が残されていることが分った。過去のデータを参考に、今後の生物調査について話し合いをしていきます。

水路で生物調査開始



タガメが捕れました。



アカハライモリが捕れました。



先生の話しに興味津々。

